

子どもの様子

- 友だちの良さを認められる子が多い。 ○自分の役割に責任をもって取り組む。 ○学年を超えた温かな交流をする。
○地域の活動に積極的に参加する子が多い。 □自己表現が苦手な子がいる。 □人と出会う様々な経験が少ない。

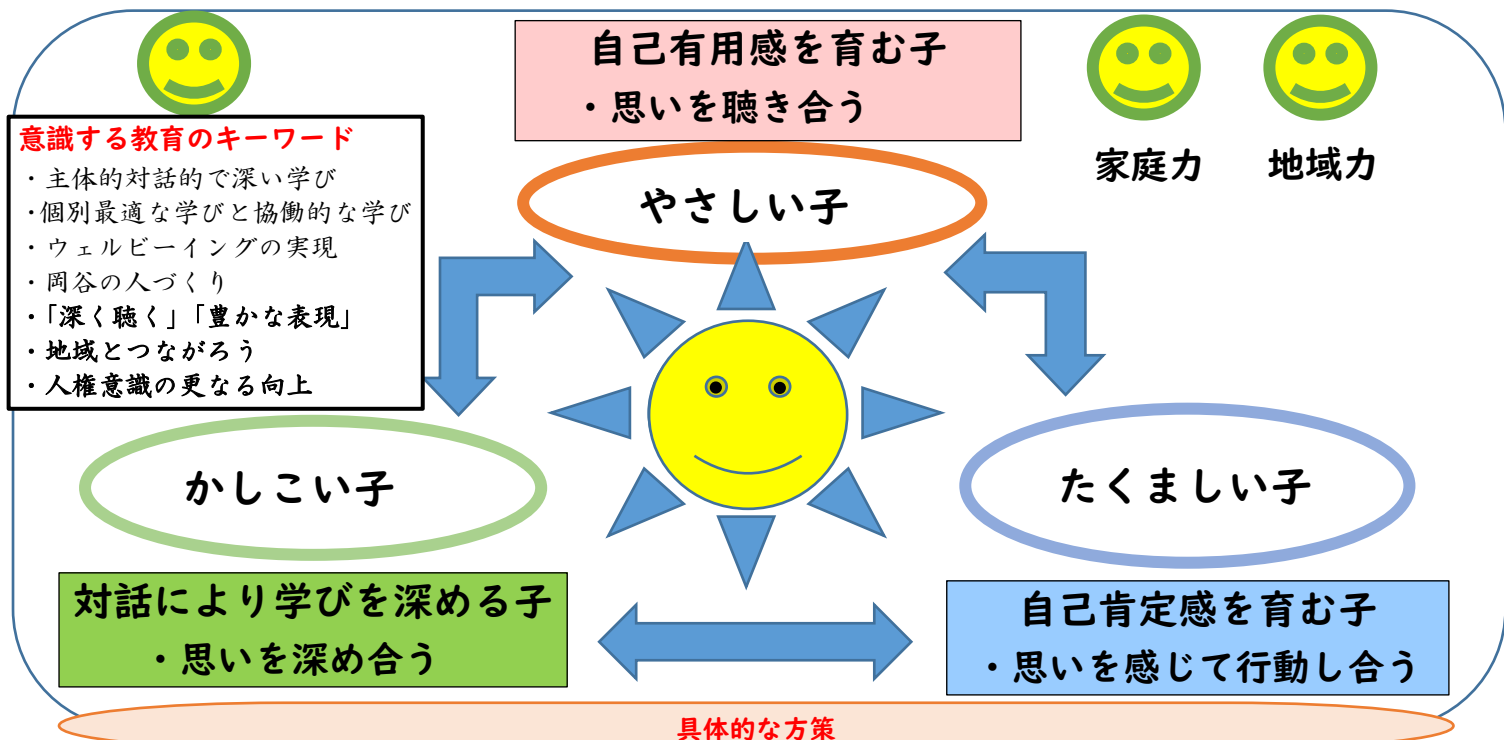
目指す学校像

④んな ④かよし ④もだち
湊小学校

目指す子ども像

『聴き合い、深め合い、思いを感じて行動し合う』湊の子

学校教育目標：やさしい子 かしい子 たくましい子



○心をつなぐあいさつ

- ・学級指導, 児童会企画, おはよう日
- 思いやりを育む異学年交流
- ・縦割り活動, 児童会企画, 湖の子集会
- ・連学年交流, わかたけ学級との交流, 聴く力の育成
- 自分の居場所がある
- ・目標をもつ, 係や委員会等での役割
- 様々な立場を認め合う教育活動
- ・幼保小中との交流や連携, 道德教育, 思い合い月間, 福祉授業
- * 教師の力量を高める研修
- ・特別支援教育についての理解を深める研修

○主体的に学ぶ

- ・問いがあり, 対話が生まれる子ども主体の授業づくり, 授業のユニバーサルデザイン化, わからないと言える学級
- 探究的に学ぶ
- ・ふるさと学習 (岡谷スタンダードカリキュラム活用), 話す・聴く・考える活用する力の育成
- 自律して学ぶ
- ・自分の課題をもった自主学習の推進
- ・タブレットの活用, チャレンジタイム
- * 教師の力量を高める研修
- ・授業改善に向けての研修
- ・ICT 研修, 交換授業, 相互授業参観

○人間関係力の育成

- ・温かな学級づくり, SST (ソーシャルスキルトレーニング) の活用, ネットモラル, 伝えて行動する力の育成, 諸外国の生活や文化などの学習活動
- 心身の健康維持
- ・体力づくり (全校集会, マラソン等)
- ・外遊びの励行 (学級, 異学年交流等)
- ・体力アップ, なかよしアンケート
- 豊かな心の育成
- ・読書活動, リコーダー演奏
- * 教師の力量を高める研修
- ・自己理解 (QU アセス), SST, 自己肯定感を高める言葉かけ, 学級づくりについて研修

合言葉

湊 心一つ

家庭との連携 (家庭力)

- ・あいさつの日常化, おはよう日における安全指導
- ・家族内の対話UP, 自己肯定感を高める言葉かけ
- 「ありがとう たすかったよ うれしいな」
- ・学校と連携した家庭学習 (学習の手引きの活用)
- ・早寝, 早起き, 朝ごはん推進, 日々の健康管理
- ・家庭読書, ICT 活用の推進

地域との連携 (地域力)

- ・あいさつ運動と安全指導 (おはよう日)
- ・ボランティア, 地域の人材, 関係団体
- ・地域での異学年交流の推進 (あそぼう日)
- ・大人との対話, 子ども主体の地域行事
- ・湊コミュニティスクール
- ・H18 豪雨災害の記憶 ・『春四之柱』に誇りを

<学級目標>

1年生：「ひとり ひとりが かがやく クラス」

2年生：「**な**かよく助け合おう **か**んがえて行動しよう **よ**く話し合おう **し**っかり学習しよう」

3年生：「気持ちをつたえて やさしく たすけあい あたりまえをたいせつに」

4年生：「低学年のお手本 まちがえてもあきらめない ルールを守って楽しい生活

悪口を言わないで みんななかよく、友情をはぐくもう」

5年生：「**た**くさんの思い出 **の**こさず食べる **し**ずかに集中 **く**じけないで進む」

6年生：「**あ**いさつで笑顔に **じ**かんを守ろう **たい**せつな仲間と **まい**にち協力できる 6年生」

第4次長野県教育振興基本計画

目指す姿：「個人と社会のウェルビーイングの実現」

～ 一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び～

政策の柱：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

- 1 一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる
- 2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる
- 3 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる

岡谷市子育て憲章

(岡谷市のめざす子ども像) 平成14年4月1日

- ・明るく、元気で、健やかな子ども
- ・命を大切に、感謝の心と思いやりのある子ども
- ・自ら求め、ねばり強くやり抜く子ども
- ・行動に責任をもち、ひとり立ちのできる子ども
- ・力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子ども

第3期 岡谷市教育大綱 (2024-2028)

「教育の理念」【自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり】

～『笑顔と感動が溢れる学校に・居場所だらけの学校に』(宮坂教育長より)～

(教育の分野別スローガン)

学校教育： 生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる 心豊かなひとづくり

- 1) 未来切り拓く確かな学力と成長の保障 ex:授業よくわかる 90%(学校評価 設問4:97.1%)、家で自分で学習 70%(6:97.1%)、**読書好き 90%(別にアンケート:78.6%)**
- 2) 「ふるさと学習」の推進と地域に開かれた学校作り ex:将来に夢・希望 90%(8:97.1%)、地域行事参加 70%(3:100%)
- 3) 自立と共生のインクルーシブ教育の充実 ex:学校楽しい 90%(1:100%)、自分によいところあり 90%(5:94.3%)
- 4) 多様性を包み込む、魅力と活力ある学校づくり ex:**毎日朝食 100%(別:91.5%)**、**体力テスト全国・県平均(別表より:男女体力合計・長座体前屈・反復横跳び◎、立ち幅跳び・握力△…小5)**
- 5) 笑顔で安心して学べる教育環境の整備 ex:人が困っている時進んで助ける 95%(10:97.2%)

(重点目標5項目と目標指標 KPI 参照)

生涯教育： 歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり

- 1) 生涯を通じた学びの推進
- 2) 過程・地域の教育力向上
- 3) 青少年の健全育成
- 4) 読書の推進
- 5) 美術考古館の活用
- 6) 文化財の保護・活用
- 7) 歴史の伝承

スポーツ： 親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとづくり

- 1) 市民ひとり1スポーツの実現
- 2) 競技力の向上
- 3) 子どものスポーツ機会の充実
- 4) スポーツ環境の整備・充実
- 5) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障がい者スポーツ大会の推進